

令和7年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農 業		科目名	畜 産	単位数	2	履修学年・クラス	2A
担当者			使用教材	畜産(実教)				
学習目標	○家畜の飼育と経営に必要な知識と技術を習得する。 ○家畜の特性や飼育環境を理解する。 ○合理的な家畜管理と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。							
学習方法	○本校で飼育している肉牛について実験・実習を通して理解を深める。 ○家畜の種類や飼育状況について取り上げ、畜産の社会的役割、家畜の飼育や畜産物の利用上の特徴、さらには諸問題や可能性について考察させる。 ○食生活や地域の畜産の実態などの具体的な事例を通して、畜産物生産、流通、利用及び畜産と地域環境との関係について考察させる。 ○畜産物の生産が消費までのフードシステムや安全な食品を供給するための食品トレーサビリティシステムなどについて取り上げる。							
学習評価	評価の観点			科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技能(技術)	家畜の飼育と畜産経営に関する諸課題について興味・関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。					
	思	思考・判断・表現	家畜の飼育と畜産経営に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、農業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。					
	態	主体的に取り組む態度	家畜の飼育と畜産経営に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、農業の意義や役割を理解している。家畜の飼育と畜産経営に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、農業に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。					
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。								

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思	態		
前期 中間	序章 畜産を学ぶにあたって 畜産とプロジェクト	畜産におけるプロジェクト学習			○	[態] 家畜や飼料の種類・利用に興味・関心を持ち、その役割について理解しようと学習に意欲的に取り組んでいる。	・確認テスト ・レポート ・ICT利用課題 ・授業観察 ・考査
	第1章 ○日本の畜産の特徴	世界の中の日本の畜産 輸入穀物飼料に依存する日本の畜産		○	○	[思] 畜産に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に判断している。	
	○畜物の需給の動向 畜産の役割と課題 動物の生理・生態と飼育環境	畜産物の需要の動向 畜産の課題 家畜と家畜化 動物の消化器官 アニマルウェルフェアに配慮した飼育管理	○	○	○	[知] ○畜産に関する飼料の種類を理解し、飼料と反すうについて考察し、給与することができる。 ○畜産および飼料に関する基礎的な知識を身に付け、畜産の社会的な役割と環境・暮らしとの関わりについて理解している。	
	◎第3章 ○家畜の栄養と栄養素 ○飼料の特性と給与	家畜と栄養 栄養素と疾病 飼料の要件と分類 家畜の栄養要求量と給与		○	○		
前期 末	◎第4章 ○肉牛の飼育	肉牛の特性 肉牛の品種と選び方 肉牛の肥育	○	○	○	[態] ニワトリや肉牛に興味・関心を持ち、その品種および消化器の働きについて理解しようと意欲的に取り組んでいる。	・確認テスト ・レポート ・ICT利用課題 ・授業観察 ・考査
	○養鶏	ニワトリの特性 ニワトリの品種と選び方 ニワトリの繁殖生理 採卵鶏と肉用鶏	○	○	○	[思] ニワトリの品種による用途や繁殖について理解し、過程を自ら考察しその結果を適切に表現できる。 [知] ○卵の構造について観察することができる。また、肉牛の繁殖について理解し経営方法を考察することができる。 ○肉牛の品種および体の特徴について基礎的な知識を身に付けている。また、消化器の特徴を理解し、健康状態との関係について理解している。	
後期 中間	○養豚	ブタの特性 ブタの品種と選び方 ブタの繁殖 肉豚の肥育 豚肉の流通 ブタの病気と予防衛生	○	○	○	[態] ブタの特性と品種について理解しようと意欲的に取り組んでいる。 [思] ブタの品種とその繁殖についての思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 [知] ○肉牛のからだの特徴について理解し、計測することができる。黒毛和種の分娩予定日を計算できる。 ○ブタの品種および体の特徴について基礎的な知識を身に付けている。豚肉の等級と流通について理解している。	・確認テスト ・レポート ・ICT利用課題 ・授業観察 ・考査
	○肉牛の飼育 肉牛の生理と飼育技術 ○酪農 乳牛の管理	肉牛の生理と飼育のポイント 子牛の生理と飼育技術 若雌牛の育成と繁殖雌牛の飼育 肥育牛の生理と飼育技術 牛乳の品種と特徴 牛乳の処理・加工と成分	○	○	○	[態] 肉牛の生理・飼育および畜産生産物やその利用に興味・関心を持ち、学習に意欲的に取り組んでいる。 [思] 繁殖性の向上、肉量と肉質、乳および乳製品の定義と成分規格についての思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 [知] ○関係する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。 ○子牛や肥育牛の生理と飼育技術および畜産生産物やその利用について基礎的な知識を身に付け、理解している。	・確認テスト ・レポート ・ICT利用課題 ・授業観察 ・考査